

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成 24 年 10 月 11 日 (2012.10.11)

【公開番号】特開 2011-250562 (P2011-250562A)
 【公開日】平成 23 年 12 月 8 日 (2011.12.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-049
 【出願番号】特願 2010-120420 (P2010-120420)
 【国際特許分類】

H 0 2 K 5/24 (2006.01)

H 0 2 K 19/24 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 5/24 A

H 0 2 K 19/24 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 8 月 27 日 (2012.8.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

フロントブラケットとリアブラケットとで形成する収容空間内に、回転子と、電機子巻線を有する固定子とを収容し、前記リアブラケットの底面部側に周方向の側壁部と、底壁部とからなるリアカバーを備えた回転電機において、前記リアカバーは、前記リアカバーの周方向の側壁部に複数の係合用開口部と、前記係合用開口部の底壁部側の径と端面開口部側の側壁部の径を相違せしめた段差とを備え、前記ブラケットは、前記段差に挿入して前記リアブラケットを固定するための係合部を備える回転電機。

【請求項 2】

前記底壁部側の径は、前記端面開口部側の側壁部の径よりも小さい、請求項 1 記載の回転電機。

【請求項 3】

前記係合用開口部の端面開口部側と、端面開口部との間にスリットを備える、請求項 1 又は請求項 2 記載の回転電機。

【請求項 4】

前記リアブラケット側に固定された係合部は、前記リアカバーの係合面に凹状を備える、請求項 1 乃至 3 の一に記載の回転電機。

【請求項 5】

フロントブラケットとリアブラケットとで形成する収容空間内に、回転子と、電機子巻線を有する固定子とを収容し、前記リアブラケットの底面部側にリアカバーを備えた回転電機において、前記リアカバーは、回転電機と外部との間で電力の授受を行なう電力用端子を挿入、嵌合するリアカバー底部の挿入孔と、リアカバー側壁部に設けられた複数の係合部とを供え、前記挿入孔に電力用端子を挿入、嵌合した状態で、前記複数の係合部において、リアブラケット側と係合することで固定される、回転電機。

【請求項 6】

整流回路の正極側ダイオードと負極側ダイオードの間に、絶縁用として挟み込んだモールド端子に、リアカバー側の複数の係合用開口部と係合するための係合部を設ける、請求

項 5 記載の回転電機。